

題 江之浦沖観測ブイ回収から設置まで

非常勤技術嘱託員 奈須政和

江之浦沖観測ブイは、潮の流向、流速、水温を24時間計測している観測ブイです。試験研究に活用しているだけでなく、定置網漁業者さんたちの操業にも役に立っています。

先日、この江之浦沖観測ブイを引き上げ、メンテナンスを行いましたので、その様子をご紹介します。

1 回収日

① 観測ブイの回収

船外機の「はやかわ」で、観測ブイをけい留索から取り外し、調査船「ほうじょう」まで曳航します。「ほうじょう」のクレーンを使い、船上に乗せます。



回収の様子

* 赤色の矢印で示してあるものが観測ブイ

② 船上での付着物除去

「ほうじょう」に乗せたらスクレイパー（お好み焼きのへらのような形状をした器具）を使い、付着物（フジツボ、ムラサキイガイ、海藻類等）を落とします。今回、多くの付着物が付いていたため、落とすのはとても大変でした。仕上げに、高圧洗浄機できれいにしました。



付着物除去の様子

③ 陸上での付着物除去の仕上げ

観測ブイは大きすぎて試験場の公用車に積めないため、リアカーで試験場まで運びます。かなり重いので、なかなか大変です。その後、船の上では取り切れなかった付着物を、丁寧に落としていきます。



除去作業の様子

2 防腐塗装

観測ブイ本体を保護するために船底塗料（防腐塗料）で塗装し、十分に乾かします。



塗装作業の様子

3 設置

① 設置準備

観測ブイを設置するために、ロープと滑車を使い2つの浮体の間隔を狭めます。この時は潮が速かった為、かなり大変でした。



引き寄せ作業の様子 *赤色の矢印で示してあるものが浮体

② 観測ブイ運搬

クレーンで「ほうじょう」から観測ブイを下ろし、設置する場所まで「はやかわ」で曳航します。この頃から、波や風が強くなってきたので作業が大変でした。



観測ブイを下ろす作業の様子



観測ブイの曳航作業の様子

③ 観測ブイの設置

「はやかわ」の船体を設置場所に近づけ、必要な部分のロープをつなぎ合わせるなどの作業を行い、観測ブイを設置します。うねりが強かった為、自分は船酔いしてしまいましたが、無事取り付けることができました。



観測ブイ取付作業の様子



設置が完了した観測ブイの様子

4 作業を終えて

私は初めて、江之浦観測ブイのメンテナンス作業を行いました。観測ブイは海中の付着物が多く付くため、放置しておくだけでデータが取れないばかりでなく、ブイが流失し事故につながる恐れがあります。その為、メンテナンスは定期的に行う必要があります。メンテナンスは海上の作業が主であり、潮流やうねりの変化に対応しながら作業しなければならず、とても大変です。今後は、海上作業での予想外の変化に対応できるよう、余裕を持ち取り組んでいきたいと思えます。